

ビスケットひとつ、お布施の心

柏崎市花栄寺 九里悠禅

『修証義』しゆしやうぎ 第四章 発願利生ほつがんりしやう

「布施ふせというは貪むさぼらざるなり、我物わがものに非あらざれども布施ふせを障さえざる道理どうりあり」

『正法眼蔵』しやうぽうげんぞう 菩提薩埵四摂法ぼだいざつたししやうぼう

その布施といふは不貪ふとんなり

不貪といふは、むさぼらざるなり

むむぼらずといふは、よのなかにいふへつらはざるなり

〈…〉

たとへば、すつるたからをしらぬ人にほどこさんがごとし

(私訳)

布施をするということは、むさぼらないということです

むさぼらないということは、立場ある人や高価なものに対し「へつらい」の心を持たないということ、相手にこびて機嫌を取らないことです

たとえば、不要になった価値あるもの(宝)を見知らぬ人にもらっていただけで、そして見返りを求めないことです